

## 経営改善の取組状況

事業所名称	くいーる作業所
事業所所在地	青森市青柳2丁目2-5
記入責任者	元山 敦史

【令和2年度を改善計画期間とする経営改善計画書】を提出した事業所についてお尋ねします。計画書に記載した具体的改善策及びその実施状況または未実施の理由についてお答えください。

### 【具体的改善策①】

既存契約における可能な範囲の委託額交渉。契約済委託契約作業範囲拡大及び新規交渉

### 【実施状況 or 実施できなかった理由】

既存の契約範囲の交渉を実施しようと考えたが、コロナ禍による相手会社の業績低下によると考えられる受注量低下に対応するのが精一杯であった。仕事量の増加を交渉を行う前に仕事量の減少を打診された為、現状を維持する交渉の方が難しい現状であった。青森市内でもコロナ感染者が多発し、その取引先の出入り業者が濃厚接触者、または感染者になる等して、事業所自体の動きが制限されることが多く、感染リスクを考えた場合全く動きの取れない期間も数カ月あった。

### 【具体的改善策②】

現在の設備を丁寧に扱い、修繕や設備の追加等ないよう運営を行う。

### 【実施状況 or 実施できなかった理由】

施設内の設備の使用方法を再指導する等して、故障の原因となる使い方を避けることにより、既存設備の修理や修繕は行う必要が無く使用することが出来た。また節電、節水等、省エネによる運営を徹底し必要以上の経費を掛けることが無く運営を行った。

**【具体的改善策③】**

交渉中の業務委託について年度内に契約を締結することを目標とする。農地取得による生鮮野菜等生産活動の開始及び販路拡大

**【実施状況 or 実施できなかった理由】**

交渉中の業者は関東にある為、緊急事態宣言の影響及び、移動の制限による大きな壁があった。何度も連絡は行ったが、先方の会社の仕入れ先の問題や、世界的にみる仕入れ材料の高騰も影響があると考えられ、一進一退のやり取りであった。はっきりした答えをようやく貰い結果、事業計画は中止になったが、その会社の取り扱いしている別部門の光触媒コーティング施工の代理店契約、ライセンス取得をすることが出来た。

農地の取得も不動産に見積もりや調査を依頼してはいたが、コロナ関連の影響で交渉が上手く進まなかったのが現状である。但し、農地は取得出来なくても事前に販路を確保することにより、販売を行う際スムーズに実施出来る準備を行った。既存の販路の他に新規での販路の確保には成功した。

※具体的改善策の数に応じ、欄を増やして作成してください。